取扱説明書番号
D167-RGXD
室内用

電波時計 取扱説明書
（デジタル電子音目覚まし時計）

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
取扱説明書は、お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造 発売元 リズム株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

（Y2209）

GUARANTEE 保証書

※品名・型番

※保証期間
お買い上げ　　年　　月　　日より1年間

お客様ご氏名　　様

ご住所

TEL（　　）　　－

※販売店印（住所、店舗名、電話番号）

※印は販売店記入

取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
  This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化（ケースなどの小キズ）。
8. 電池の交換。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明　⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない
- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意　傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

下記のような場所では使わない
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が−10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。　●ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生する所。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

液晶から漏れた液に素手でさわらない
液晶が破損して漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

- **プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。**
- **長期間使用しないときは電池を取り外す。**
- **電池に表示されている使用推奨期間内に使う。**
- **古い電池と新しい電池を混ぜて使わない。**
- **時計が動いていても定期的に交換する。**
- **時計が止まったらすぐに電池を取り外す。**
- **幼児の手が届かない所に置く 。**
- **種類の異なる電池を混ぜて使わない。**

電池の種類について
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。
  （例：Panasonic EVOLTA（エボルタ）乾電池）　※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

お手入れについて
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄
- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

- **修理部品の保有について**
  電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- **修理可能期間について**
  無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先　お客様相談室　0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00〜17:00（土日、祝日および当社休日を除く）
お問い合わせに際しては、製品番号（型番）をお伝えください。　例：8RZ○○○

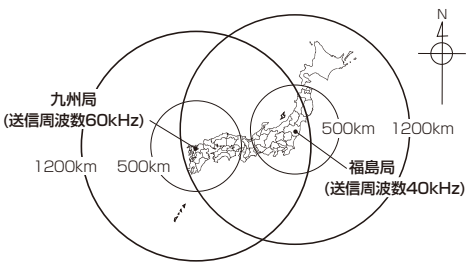
電波時計について

電波時計とは
クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電波の受信範囲について
送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼/夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

海外でのご使用について
この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

おもな製品仕様

使用温度範囲	−10〜 50℃（液晶表示可読温度範囲0〜40℃）＊結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度　±1秒 標準電波を受信しない場合　平均月差±30秒（温度が5〜35℃のときのクオーツ精度）
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 1.5V R6P　2個
電池寿命	約1年（1日当たりアラームを30秒間鳴らし、照明を3秒間点灯したとき）
表示方式	LCD（液晶）
時刻表示形式	12時間/24時間　選択式

標準電波	標準電波を受信して日時を自動修正	受信回数	1日8回
受信局	福島局、九州局自動選択	受信ON/OFF	あり
受信時刻	1時、2時、3時、4時、13時、14時、15時、16時　各時間帯の16分40秒に開始		

アラーム機能	設定した時刻にアラームが鳴り出す	温度表示範囲	−9.9 〜 50℃
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒	温度の精度	±2℃
アラーム音	電子音	湿度表示範囲	20〜95%RH* 温度が5〜50℃のときに表示 * %RHは相対湿度を表しています
スヌーズ	あり		
オートストップ	あり		
照明	LCD部をLEDで照明	湿度の精度	±10%RH
防塵防滴機能	なし	測定間隔	1分間隔

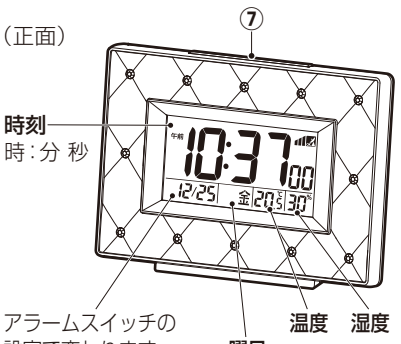
※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。常温になれば正常に戻ります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。種類の異なる電池と混ぜて使わないでください。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品　取扱説明書・保証書　本書

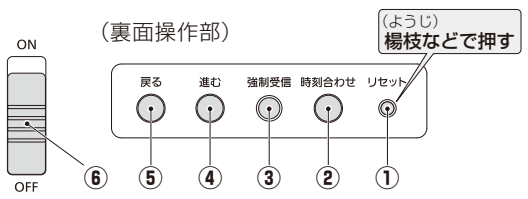
電池は付属しておりません。単3形マンガン乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



①**リセット** ―― 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。押すと2010年1月1日午前12:00、アラーム時刻午前6:00になります。
②**時刻合わせ** ―― 手動で日時を合わせるときに使用。押してすぐ離すと12/24時間表示切り替え。
③**強制受信** ―― 押すとすぐに受信を開始します。
④**進む** ―― アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用。
⑤**戻る** ――
⑥**アラームスイッチ** ― アラームのON/OFFスイッチ。
⑦**スヌーズ** ―― アラーム音の一時停止。押すと照明点灯。

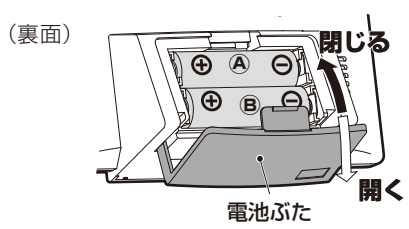


※液晶の表示は、見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

1 使いはじめるとき　電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、（手動での時刻合わせ）をお読みください。
◎電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

電池を入れるときは、電池ぶたを開閉してください。



電池を入れる　単3形マンガン乾電池　2個
電池を入れるときは**Ⓐ**Ⓑの順。取り出すときはⒷ**Ⓐ**の順。
⚠注意　電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の危険があります。

電池をセットしたときやリセットを押すと「ピー」と鳴ります。

❶**電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる**
❷**リセットを押すと受信マークが点滅し受信を開始します**
◎ 受信中はボタンに触れないでください。
❸**受信結果を確認する**
受信は、最長で約21分行います。受信マークで受信結果を確認してください。
☞【受信の流れと表示】参照

【受信の流れと表示】

〈リセットを押した直後〉

〈受信開始〉　受信マーク（受信中点滅）

〈受信終了〉
最長21分後　点灯

（受信成功例）

消灯

（受信失敗例）

○受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
○受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。
このようなときは、場所を変えてから**リセット**を押し、再度受信を試みてください。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。（電波サーチ機能）

チェック！
1～2分経過しても❶または❷の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセット**を押し、再度受信を開始させてください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に**進む**または**戻る**を押すか、**時刻合わせ**を約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、**リセット**を押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ … 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定してください。

年月日、時刻（時、分）でのボタン操作

点滅している数値を**進む**または**戻る**で合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確定して次のステップに進みます。

操作	押してすぐ離す	押し続ける
進む	１つ進む	早送り
戻る	１つ戻る	早戻し

操作例 2015年12月25日　午前10:37に合わせる

①**西暦年が点滅するまで時刻合わせを約2秒間押し続ける**

②年

②**年を合わせる**
③**月を合わせる**
④**日を合わせる**
⑤**時を合わせる**
⑥**分を合わせる**
分のときに、**進む**または**戻る**を押すと秒が00になる

③月 ④日
⑤時　⑥分 秒

以上で設定が終わりました。

- **約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。**
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。
- 電波受信機能が ON のときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**リセット**を押してください。

2 アラーム機能を使う

■ アラーム時刻の設定

①**アラームスイッチ**をOFFにする
②**進む**または**戻る**を押してすぐ離す
「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。
③**進む**または**戻る**でアラーム時刻を合わせる
④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

操作	押してすぐ離す	押し続ける
進む	１つ進む	早送り
戻る	１つ戻る	早戻し

午前/午後の表示に注意。
表示されていない場合は24時間表示です。

■ アラームのON/OFF 設定

ON：設定時刻にアラームが鳴る。
アラーム時刻とアラームマークを表示
OFF：アラームを止める、鳴らさない。
日付を表示

■スヌーズ機能（止めてもまた鳴る）

アラームが鳴っているときに、**スヌーズ**を押すとアラームマーク（((•)))が点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴りだします。この操作は7回まで繰り返して使用することができます。8回目は、**スヌーズ**を押すとアラーム音は止まります。

■オートストップ機能（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴って止まります。

■アラーム音を試聴するには

アラーム時刻を現在時刻より、1～2分進んだ時刻に合わせて、**アラームスイッチ**をONにしてください。アラーム時刻になるとアラームが鳴り出します。

アラームご使用上の注意

アラームスイッチがＯＮのときは、毎日アラームが鳴ります。アラームを使わないときはＯＦＦにしてください。

照明について

スヌーズを押すと表示面が約３秒間照明されます。照明時は正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読めないことがあります。

時刻表示の切り替え

時刻合わせを押してすぐに離すと12時間表示と24時間表示を切り替えることができます。

午前 / 午後付12時間表示　　24時間表示

次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。
●電波の受信中　●アラーム状態　●アラーム時刻、日時の設定中。
＊アラーム状態とは、アラームが鳴っているまたはスヌーズ機能を使用している状態。

温度・湿度表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。
○センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度･湿度を反映するまでには時間がかかります。
○直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
○測定する高さによっても、温湿度に違いが出ることがあります。
※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味
温度「HH.H」50℃より高温　「LL.L」−9.9℃より低温
湿度「HH」95%より多湿　「LL」20%未満　「--」測定不可
＊湿度は温度が５～５０℃のときに測定可能

電池の交換について　早めに交換して液漏れを防ぎましょう

⚠注意　電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。
- 液晶表示が薄くなった、表示が欠けた、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

※電池は、同じメーカーの同じ種類のものを使用することをお勧めいたします。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

受信機能 OFF（標準電波で日時を修正しない）
リセットをおよそ1秒間隔で3回押してください。
○「ピー」と鳴ってから押してください。
○OFFになると「ピー」と鳴りません。
○日時は手動で合わせてください。

受信機能 ON（有効にして受信を開始する）
戻るを押しながら、**リセット**を押して離すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後に**戻る**を離してください。
○標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

※操作のタイミングによっては、ON／OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
※回路内に電荷がなくなった後に、電池を入れると受信機能はON になります。

強制受信とリセット

■ 強制受信

場所を移動したときなどに、受信を試みたいときに使います。受信に失敗しても日時は継続して表示します。
次のようなときは受信を開始しません。
- アラーム状態のとき
- 手動でアラーム時刻または日時を設定中
- 受信機能がOFFになっているとき

■ リセット

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに**リセット**を押します。
リセット直後は、2010年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前６:00に初期化されます。
受信機能がONのときは、受信を開始します。